

トランポリン部

国内トップクラスの練習環境
「人間力なくして競技力向上なし」

難しい技に挑戦して達成する喜びは、トランポリン競技の醍醐味であり、最大の原動力です。ただ、中学生にとって最も重要な目標は、まずトランポリンの基礎を地道にしっかりと習得することです。本校トランポリン部は、国内トップクラスの施設のもと、世界大会に選手、あるいはコーチとして臨んだ経験のある指導陣が全力でサポートするのが特徴です。

美しさを追求する練習は、地味でとても苦しいものですが、困難に立ち向かい、乗り越えた先には、想像も

できないすばらしい成果が待っています。オリンピックや世界選手権へ多くの代表選手を輩出してきた金沢学院大学、及び附属高校のトランポリン部内には「人間力なくして競技力向上なし」という言葉が定着しています。どんなに良い環境ですばらしい練習を重ねたとしても、高い人間力を備えなければ、夢を成就することはできないという心得です。本校トランポリン部もこの伝統のもと、ここでトランポリンに打ち込んで良かったと思えるような部活動を目指します。



練習に励むジュニア選手＝金沢学院大学第2体育館

チームポリシー *policy*

1. 課題に向き合い挑戦すること
2. 粘り強く努力し、強い意志を持つこと
3. 自分の可能性を信じること

練習場所

金沢学院大学第2体育館
2Fトランポリン場

活動予定

授業後に2時間程度、週に1回
休息日を設けます。

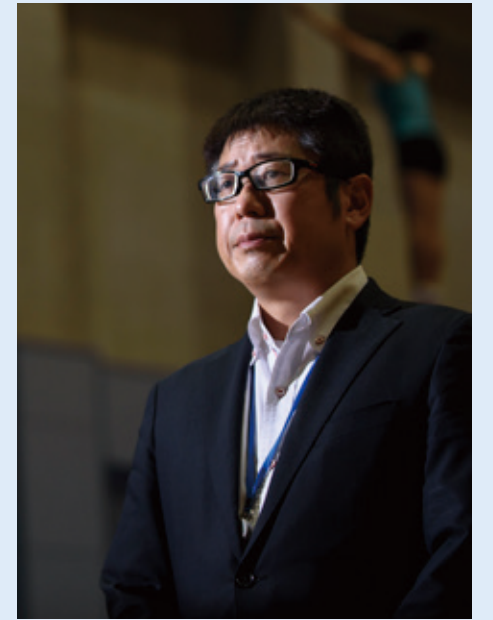
指導者の胸の内

目指すは、競技力と人間力の向上

トランポリンは楽しいスポーツです。しかし、一流の選手になるためには地道な努力を重ねることが求められます。基本を守り努力を重ね、周囲への感謝の気持ちを忘れない。そんな選手が頂点に立つことができるのです。トランポリンを通して、一人一人の「競技力の向上」と「人間力の育成」を目指して指導に当たります。努力を続けることは、高校、大学を経て社会に出た後も役立つ経験となるはずです。

福井 卓也 男子監督

白山市出身。2000年シドニーオリンピック・2012年ロンドンオリンピック男子コーチ。全日本選手権男子個人優勝5回、1992年世界選手権男子個人8位、公益財団法人日本体操協会トランポリン委員長、金沢学院大学スポーツ科学部学科長。



3年、6年、10年と計画的育成図る

森ひかる選手が2019世界選手権で日本人選手として初の個人優勝を果たし、東京オリンピックの出場権を獲得するまで、高校、大学と5年計画で強化を図りました。最初は基礎的スキルの習得、跳躍力の強化、スポーツマンシップの養成という3本柱を課題に指導に当たり、1年ごとに課題を明確化し、相応の成果を出していきました。本学では、中学-高校-大学と長期的、計画的な一貫指導が可能です。3年計画、6年計画、10年計画で選手育成・強化を図ります。

丸山 章子 女子監督

金沢市出身。2000年シドニーオリンピック6位入賞、全日本選手権個人9連覇優勝、2012年ロンドンオリンピック女子コーチ、2019世界選手権完全優勝(団体・個人・シンクロナイズド)女子監督、公益財団法人日本体操協会トランポリン女子強化本部長、金沢学院大学スポーツ科学部教授。

信頼の指導者たち *coaching staff*

コーチ 横田 雄帆

白山市出身。金沢学院東高校(現・金沢学院大学附属高校)、早稲田大学卒。全国高校選手権優勝。全日本社会人大会準優勝。石川県国体強化コーチ、監督を務める。金沢学院大学附属高校トランポリン部顧問兼務。

